

## 平成 27 年度事業報告書

当法人は、平成 27 年度の事業として掲げる、

- (1) 流しびな行事の実施に係る事業
- (2) 流しびな行事の文化を広く伝える施設「流しびなの館」の管理運営に係る事業
- (3) 観光客への土産物販売事業
- (4) 観光客の休息のための飲食店営業事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

に則り、諸事業を遂行すると共に、経費のより一層の削減と集客・収入増加へ向けて取り組んだ。

流しびなの館では、新暦 3 月 3 日の甘酒無料配布（約 250 人）を実施した。更にはマラニック大会、コーラスグループによるサマーコンサート、用瀬の月を愛でる会、用瀬町ふれあいまつり、流しびなの館で童謡をうたう会など、地域の行事に積極的に協力し、施設の有効利用に努めた。

また、特別展示として

- |          |   |          |            |
|----------|---|----------|------------|
| 5 月 1 日  | ～ | 5 月 31 日 | お雛さま絵手紙展   |
| 6 月 4 日  | ～ | 6 月 16 日 | 用瀬写真クラブ写真展 |
| 10 月 4 日 | ～ | 1 月 17 日 | 福岡正子桐壱人形展  |

を実施した。

更に、地元の常盤流しびなの会と連携して、流しびなづくり体験を通年実施し、旅行会社の利用もあって延べ 13 件、226 名の利用があった。

入館者については 8 割方が県外客であり、少しずつではあるが旅行会社の招客も増えつつある。

観光物産センターにおいては、喫茶のメニューを一新、2 階の和室では、地域や近隣住民の利用が増加して食事や盛皿、法事の会食や弁当等の利用が伸びている。

更に、観光バスの誘致をはかるための創作料理「雛ものがたり」は昨年度よりは減少したものの、特に原材料の仕入れを工夫した結果、喫茶部門全体では増益となった。

尚、喫茶部門においては、原材料をなるべく地元産にして地産地消に心掛け、地元の人が安く安心して利用出来るよう取り組むと共に、衛生面においては業務量の増加による中での職員の安全意識をより一層高め、食中毒等の防止並びに業務上の事故防止に万全を期している。

全体的には、ホームページを充実・活用したことにより情報発信が高まり、問い合わせや予約等も多くなり、集客が伸びつつある。

## 平成27年度流しびな行事 実施事業

平成27年度は4月21日の流しびな行事の実施と、次年度へ向けたポスター・チラシ・パンフレットの作成、配布と、当日の実施事業の取りまとめ準備を実施した。

流しびなポスター	B1判 (JR西日本各駅分)	380枚、	B2判	500枚	
チラシ	A4版	7,000枚			
当日パンフレット		6,400枚			印刷、各方面へ配布

(平成27年4月21日火曜日の実施状況)

- 雛飾り公開 (10:00~16:00)  
町内の家庭で雛祭りの公開。(2軒) ●有本家 ●徳永家  
ひな飾り通りにおいて、自主的に雛飾りをしていただく家庭が多くなった。
- 流しびな製作実演 (10:00~15:00)  
流しびなの実演と体験。(2カ所) ●2区公民館 ●流しびなの館
- お茶席 (10:00~16:00)  
町内で抹茶の接待(有料)。(3カ所)  
●観光物産センター ●佐々木ギャラリー ●松風(松島家)
- 短歌・俳句会 (10:00~16:00)  
投稿箱の設置。(3カ所)  
●用瀬郵便局前 ●奥本家前 ●流しびなの館前
- ひながたり(館) (10:30~12:00)  
エッセイ・絵手紙表彰式・朗読会「雛がたり」を実施。
- ひな荒らし(5区公民館) (11:30~14:00)  
子どもたちの「ひな荒らし」の様子を公開。
- 祈祷神事(ふれあいの水辺) (13:30~13:45)
- ひなのお焚き上げ (15:00~16:00)  
祈祷神事と、古い雛人形に感謝の「お焚きあげ」神事を実施。
- ひな流し  
市長・流しびなレディーによるひな流し(13:45~)  
小学生(13:50~)  
園児・幼子(着物で)(14:15~) 参加園児36人  
体験希望者(11:00~14:00及び15:00以降)
- 流しびな(さん俵)の全戸配布  
流しびなの伝承のため、用瀬地域の各家庭に全戸配布。(約300軒)

その他、町内を巡るスタンプラリー、地元の物産販売、もちつきの実演など多彩な企画で観光客に楽しんでいただいた。

## 平成27年度流しびなの館管理運営事業

### ○常設展示

用瀬ほか各地に伝わる流しびな

江戸時代から現代のひな人形と各種人形 約1,000体の展示

利用者数 12,925人

### ○特別展示

お雛さま絵手紙展 (5月1日～5月31日)

期間利用者数 154人

用瀬写真クラブ写真展 (6月4日～6月16日)

期間利用者数 224人

福岡正子桐塑人形展 (10月4日～1月17日)

期間利用者数 3,015人

### ○利用促進事業

流しびなの製作体験事業の実施。

流しびな製作グループ「常盤流しびな」の指導により、紙雛とさん俵づくりの製作と「ひな流し体験」を実施した。

4月19日	鳥取市内より	14人
4月20日	徳島県より	4人
5月23日	京都市より	18人
5月30日	大阪市より	23人
7月25日	鳥取市内より	27人
7月27日	兵庫県より	11人
10月2日	ハワイより	15人
10月18日	米子市より	28人
2月25日	香川県より	11人
3月1日	兵庫県より	29人
3月5日	大阪市より	10人
3月14日	京都府より	22人
3月19日	鳥取市内より	14人
体験者		計226人

お雛さまエッセイ&絵てがみコンクールの実施。

朗読グループ「雛がたり実行委員会」と連携し、雛祭りにまつわるエッセイと絵てがみ、また短歌を全国から募集した。

応募作品数 エッセイ・絵てがみ・短歌総計3,240点

流しびなの館ふれあいホールの利用促進。

地元の文化団体等と連携し、主に下記の催しを実施した。

4月21日	お雛さまエッセイ・絵手紙コンクール表彰式・朗読会	参加者260人
7月5日	鳥取ベンチャーズコンサート	参加者120人
8月31日	サマーコンサート	参加者80人
9月27日	用瀬の月を愛でる会	参加者230人
10月24日	ふれあいまつり中学校茶席・講演会	参加者200人 (ラウンジ・ホール)
10月25日	ふれあいまつり発表会	参加者100人
11月8日	説明「お雛さまについて」	参加者34人
12月18日	説明「館と雛について」	参加者69人
3月3日	流しびなの館で童謡を唄う会	参加者200人

平成27年度施設利用状況

平成27年度 総利用者数 (流しびな行事 4月21日) (単位:人)

流しびなの館		観光物産センター	
展示室入館者	12,925	売店利用者数	23,258
ふれあいホール	2,155	喫茶利用者数	11,719
		休憩室利用者	2,445
小計	15,080	小計	37,422
利用者合計			52,502

業務別 内訳 ① 流しびなの館 (単位:人)

展示室入館者数内訳					
展示室入館者	有料入館者	無料入館者 中学生以下	無料入館者 障がい者等	無料入館者 要介護者等	無料入館者 その他
12,925	5,787	1,492	390	1,352	3,904
入館料					
1,351,259円					

② 観光物産センター (単位:円)

販 売					
受 託 商 品			買 取 商 品		
受託販売額	精算額	差引手数料	売上額	仕入額	差引収益額
2,996,795	2,121,513	875,282 切手類取扱手数料 40,259	181,985	199,334	▲17,349

喫 茶		
売上額	原材料費	差引収益額
14,422,882	6,046,541	8,376,341

創作料理「雛ものがたり」利用数 (単位:人)

4月	102	5月	81	6月	66	7月	82	8月	37	9月	24
10月	91	11月	103	12月	47	1月	92	2月	92	3月	82
合計											899

③ 施設利用件数及び人数

流しびなの館ふれあいホール	観光物産センター休憩室	使用料
50件	240件	69,250円
2,115人	2,445人	